

令和5年度 第1回 羽島市立図書館協議会会議要旨

日 時	令和5年5月24日（水） 午後1時30分～午後2時30分
場 所	図書館2階研修室
出 席 者	【図書館協議会委員】 任期：令和4年5月1日から令和6年4月30日 図書館協議会委員 森田 恵子 （社会教育関係者） 図書館協議会委員 近藤 修 （社会教育関係者） 図書館協議会委員 坂田 田壽子 （家庭教育関係者） 図書館協議会委員 柳川 禎章 （学識経験者） 図書館協議会委員 木下 慎一郎 （学識経験者） 図書館協議会委員 赤地 奈津美 （市民公募者） 【事務局】 ＜図書館長＞ 番 重宗 ＜図書館長補佐兼総務係長＞ 高井 依里香
内 容	1 委員長挨拶 2 協議事項 （1）令和5年度実施事業（案）について 資料に基づき事務局より説明 3 報告事項 （1）図書館要覧について 資料に基づき事務局より説明 ＜委 員＞ 赤ちゃんタイムやおはなし広場が再開するにあたって、以前ボランティアで参加されていた方から「再開するという連絡がこなかった」という意見を聞いた。当人たちが参加できるかどうかは分からなくても、再開前にお声がけするべきだったのではないかと。 ＜事務局＞ 事務局では代表者の方に再開の旨を連絡していた。そこから通達がどのように広まっていったかは、把握しきれていなかった。 ＜委 員＞ 令和5年度の予算で施設改修費が大幅に増額しているが、何のための費用なのか。 ＜事務局＞ 図書館に太陽光発電用のソーラーパネルを設置するための「太陽光発電設備設置工事費」と、工事に屋根が耐えられるようにするための「屋上防水改修工事費」を計上している。 ＜委 員＞ 子ども司書体験ではどのような活動を行ったのか。 ＜事務局＞ 小学生を対象に、受付カウンターで本の貸出や返却業務のほか、本の補修や倉庫の整理などを体験していただいた。今回の募集では30名
報 告 事 項	

の応募があり、そのうち10名を抽選して参加していただいた。

＜委員＞ 赤ちゃんタイムやおはなし広場は従来では定員なしで参加してもらっていたが、コロナ禍を経て、今後は定員を設けるのか。

＜事務局＞ 現状では定員を設けることは検討していないが、毎回参加人数が多すぎることになれば開催場所を検討する必要がある。ただし、子供を連れて2階まで行くのは大変という意見をいただいたことがある。加えて子どもがけがをしないように安全面にも留意していきたい。

＜委員＞ 次回の赤ちゃんタイムやおはなし広場の日程などが記されたチラシは、図書館に来館した人にのみ配布しているのか。コミュニティセンターなど、図書館以外でも入手できたほうがよいのではないかな。

＜事務局＞ 日程の周知方法については、今後拡大していくように検討する。

（2）雑誌スポンサーについて

資料に基づき事務局より説明

＜委員＞ スポンサーになることでメリットは発生するのか。

＜事務局＞ スポンサーの方に購入していただいた雑誌のカバーに広告を載せることができるようになる。企業の事業に近い内容の雑誌であれば、より広く企業の周知を行うことができる。

＜委員＞ その雑誌を手にとった人にしか周知がいかないと思われる。企業のロゴなどが描かれた葉などを作成してみてもいいかな。

＜事務局＞ 以前もあまり目立たないという意見をいただいたことから、デジタルサイネージでスポンサーの一覧を公開している。今回いただいた意見についても今後検討していきたい。

4 その他

＜事務局＞ 8月中旬予定の図書館まつり実行委員会への参加、手づくり絵本コンクール審査会委員に選出された方には10月の審査会での審査をお願いしたい。

＜委員＞ 絵本コンクールの審査の際、選考基準が欲しい。羽島にちなんだ作品とそうでない作品が混じっているため、選考の際に悩んでしまう。テーマごとに部門を設けてはどうか。

＜事務局＞ 部門を作ったとして、特定の部門に応募作品が集中してしまうことも考えられる。最悪、該当者なしという結果にもなりえる。令和4年度同様、審査時に特別賞を設けて入賞させる方法が考えられる。

5 閉会